

学級だより

2025年11月4日(火)
サポートルーム11月号

特別支援教室拠点校 町田市立町田第三小学校

木々が赤や黄色に色づき、落ち葉が舞い散る季節となりました。後期に入り、ますます子供たちの成長を感じています。これからも子供たち一人一人に合わせた支援ができるよう、より一層ご家庭との連携を深めていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



○指導期間の延長について

来年4月からの指導の延長について、対象の方にお電話又は連絡帳にて、保護者の方のご意向をお聞きたいと思います。ご家庭でも延長を希望するかどうかを検討しておいていただけたらと思います。

○お願い

前期に学習したプリントが、連絡帳ファイルの中でいっぱいになっていて重そうなお子さんがいます。重そうな場合は、前期の分(9月以前)はファイルから外してご家庭で保管していただきますよう、よろしくお願いいたします。



《どうしていろんなゲームをするの?》

サポートルームでは、活動の中で様々なゲームをしています。一見遊んでいるだけのように見えますが、その中にはたくさんの学びがあります。順番やルールを守ること、負けたとき、思い通りにならなかったときに気持ちの切り替えをすること、友達とコミュニケーションをとりながら遊ぶこと…。それぞれのゲームに意味があり、楽しく遊ぶことがたくさん隠れています。クラスでも友達と楽しく活動できるよう、ゲームの中でも様々な力を育てています。



町田第三小学校

低学年「あったかボウリング」

あったか言葉とチクチク言葉を学習した後に、あったか言葉を使ってボウリングを行いました。「がんばれ!」「ドンマイ!」「ナイス!」「いけるよ。」とたくさんのあったか言葉が溢れる中、楽しく活動することができました。嬉しい言葉をかけると楽しくなることも実感できました。

本町田ひなた小

低学年「ドミノ」

「途中で倒れても諦めない」というめあてをもってドミノをしました。「曲がり道」「階段」などを入れながら丁寧に並べていきました。途中で倒れてしまっても「まあいいか。」と気持ちを切り替え、頑張りました。最後は並べたドミノが倒れるところをみんなで見合い拍手を送りました。

南第一小学校

低学年「協力コップタワー」

2人組になって、輪ゴムにつながったひもを2本ずつ持ち、輪ゴムの開き具合を調節しながら、紙コップのタワーを作りました。「せーの。」「次は緑にしよう。」などと、声を掛け合うことで、動きを合わせることができました。タワーを見て満足そうな表情でした。

高学年「協力ゲーム」

みんなで協力する活動を3つ行いました。その中の「新聞島」という活動では、ペアで協力して乗り方を考えました。じゃんけんで負けると面積が半分になる新聞の島に乗って落ちないように「こっち少し空いてるよ。」「寄っかかってもいいよ。」と声を掛け合う姿がすてきでした。

高学年「島の引っ越し」

バラバラになった島の住人を「隣の島にしか移動できない」という条件のもと、少ない手数で正しい場所に戻す活動をしました。先の見通しをもちながら、「3番さん、お助け島に行ってください。」などと指示を出し、正しい場所に直せると「できました!」と嬉しそうでした。

高学年「アクロバットゲーム」

体の動きを工夫する活動の1つ「ツイスター」では、ペアになり、「右手を緑色に置いてください。」と指示された色に、倒れないように慎重に動いたり、力の入れ方を調整したりする姿がありました。他の活動でも楽しみながら体の使い方を工夫することができました。